

キャラクター名
アマール=フローレス

プレイヤー名

種族	人間	種族特徴	剣の加護/運命変転		
生まれ	冒険者	性別	男	年齢	13
冒険者Lv	4	経歴	家族に魔法使いがいる(いた)		
経験点	550		血縁者と死別したことがある		
		監禁されたことがある			

	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス	技能	Lv.	技能	Lv.
技	8	器用度	3	1	12	2	ファイター	4		
		敏捷度	11		19	3	ソーサラー	1		
体	8	筋力	12		20	3	スカウト	1		
		生命力	10		18	3	セージ	1		
心	8	知力	12		20	3	エンハンサー	1		
		精神力	2	1	11	1				

戦闘特技		
全力攻撃	1-286p	p
ターゲットィング	1-280p	p
		p
		p
		p
		p
		p
		p
		p
		p
		p
		p
		p

言語	会話	読文
交易共通語	○	○
魔法文明語	○	○
妖精語	○	
ブルライト地方語	○	○

練技/呪歌/騎芸/賦術	
マッスルベアー	

名誉アイテム	点数
名誉点 所持 81 /合計 81	

技能	技能	基本	基本	基本追加
	レベル	命中力	回避力	ダメージ
ファイター	4	6	7	7
グラッブラー	0			
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾		必要			
		ランク	筋力	回避力	防護点
鎧	ハードレザー		13	0	4
盾					
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					
回避技能	ファイター	合計値	7	4	

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
マトック	2H	20	-2	2d+	4	10	7	40									
				2d+													
				2d+													

一般装備品	(消耗チェック)	
ドレス	○□□○□□	○□□○□□
防寒着	○□□○□□	○□□○□□
保存食	○□□○□□	○□□○□□
救命草x11	○□□○□□	○□□○□□
魔香草x6	○□□○□□	○□□○□□
ヒーリングポーション	○□□○□□	○□□○□□
所持金	1110 G	預金・借金
		G

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP
3 m	19 m	57 m	2d+	7 4	30

魔物知識/弱点	先制力	生命抵抗	精神抵抗	MP	
2d+	4	2d+	4	14	
		2d+	7	2d+	5

装備品	説明
頭 セーフティメット	大ダメージのピンチを1度だけ無効化する
耳 家紋の耳飾り	赤い花を模した宝石の耳飾り
顔	
首 家紋の首飾り	赤い花を模した宝石の首飾り
背中	
右手 家紋の指輪	赤い花を模した宝石の指輪
腰 コルセット	スタイルがよく見える
足 家紋のトゥリング	赤い花を模した宝石のトゥリング
その他	

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
真語魔法	1	4			

装備品	説明

その他メモ		自動失敗チェック
ユーシズ魔導公国で生まれたフローレス家四女(長男)。一人称は僕(公の場では私)		○□□□⑤
三十七代の歴史を持つ一族であり、全ての子は必ず女が生まれる[女性]の一族である。フローレス家は国を支える優秀な魔導師として代々仕えてきており、それ故に男として生まれてきたアマールは異端的存在として家族から忌み嫌われている。		○□□□⑩
普段は屋敷から1歩も出ることが許されず、受ける指導は淑女としての振る舞いであり、公の場に出ることがあれば必ず[コンヴァーシオン]を使用され、周囲からも女としての在り方を求められ、女性としての生活を続けてきた。「淑女たらしく、その身を国に捧げるべし」その家訓が、男である彼の精神をどれだけすり減らしてきたかは走かではない。だがきっと、彼自身が自分の存在を否定する程度には荒み切っていたことは確かだろう。		○□□□⑮
男に生まれてきた弊害か、魔法すらも使えぬ自身に価値などない。いくら身体を鍛えても、魔導師の一族である以上は評価すらされない。		○□□□⑳
そんな彼を唯一氣遣ってくれた次女がいた。長女も三女も、生みの親である母でさえも彼を嫌っている中で唯一の味方。それが次女だった。		○□□□㉕
		○□□□㉙
		○□□□㉟
		○□□□㊿